翔生（しょうせい）

Symbol Logomark　これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト「若さ、情熱、広い視野をもった経営者＝Youth, Energy, Generalist」を表しています。

発行　全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3－2－2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03－3283－7852

編集　広報委員会

平成11年（1999）
3月号
通巻　第26号
（年2回　3月・8月発行）

平成11年度役員挨拶

アントレプレナーズスピリッツ　今起こそう、経済維新の風

平成11年度商青連会長　北島重利

[illegible]

副会長

高橋　純造

[illegible]

副会長（東海区）

永井　隆

[illegible]

副会長（中国区）

加藤　佳秀

[illegible]

副会長（西日本区）

福田　有史

[illegible]

専務理事

野村　昌秀

[illegible]

平成11年度商青連役員（敬称略）

役職	氏名	所属
会長	北島　重利	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

委員会活動報告

研修委員会

委員長
伊藤 孝一
（松江YEG）

研修委員会委員

委員長
伊藤 孝一（松江YEG）

委員
[illegible]

担当副会長
[illegible]

[illegible]

総務委員会

委員長
福田 有史
（久留米YEG）

総務委員会委員

委員長
福田 有史（久留米YEG）

委員
[illegible]

専務理事
[illegible]

[illegible]

広報委員会

委員長
河渡 忠兵衛
（京都YEG）

広報委員会委員

委員長
[illegible]

委員
[illegible]

担当副会長
[illegible]

[illegible]

企画委員会

委員長
山本 吉己
（袋井YEG）

企画委員会委員

委員長
山本 吉己（袋井YEG）

委員
[illegible]

担当副会長
[illegible]

[illegible]

YEGヤングリーダー研修

[illegible]

YEGヤングリーダー研修アンケート集計（抜粋）

[illegible]

1.今回の研修で良かったものは？

[illegible]

2.全国の会議は、参加し易かったですか？

[illegible]

3.本研修会への参加を他のYEGメンバーにも勧めますか？

[illegible]

4.今回の研修において、他の参加者と交流できましたか？

[illegible]

5.今回の研修において、委員会委員と交流できましたか？

[illegible]

6.機会があれば、委員会に出向したいと思いますか？

[illegible]

7.本研修の希望開催回数は？

[illegible]

8.参加申し込み方法は？

[illegible]

9.研修の内容は？

[illegible]

青森全国大会報告

全国大会実行委員会大会報告
青森大会会長　倉橋　純忠

第十八回青年経済人全国大会、それは44年目を迎えた伝統ある青森の大会史上、全国大会開催史上でありました。それだけに今、今回大会を終えて特別に感慨深いものを感じております。我国経済のしかり日本全国にて最大級の会員への企業、それは「国YEGメンバーの一丸三千名の世代参加という行動でもって、新しい結束と相成ったのです。経営者達の時間に追われて選択した我々の里での大会開催、即ち早くからの総会運営への参加人数を実現されましたがそれを支えました多くの青森の不安は吹き飛ばしました。各交流会、エクスカーション、前夜祭懇親会、ゴルフ大会、物産展そして前夜祭懇親会を目的のもと行った青森メッセ各会での部分で開催、多くなって会議、運営を行って参りました。

全国大会会長大会のコンセプトワードは一伝えたい、かなえたい、そしてキャッチフレーズは「日本の底力を問う」あう、魂文の表YEGに「少しだけ、全国の第13回大会の活性が、お互いの想いをかなえることの出来る、そして豊かな自然と歴史、文化の中に溶け込み合う今一度じっくり自分を振り返ることの出来る、そのような願いを込め、「我々主役十五個の活性化を求めるのではなく、まさに人々のための祭りであるべき、祭りとして我々が考えられてることあり、祭りとして「伝えたい」という一心をおき準備してきいりました。その過程では今までならかというとあまり交流の無かった地域のメンバーが一つの目標へ向かって一丸となったという結束感をも得ることが出来ました。「あおもり」そして「伝えたい、かなえたい」の想いは国YEGの皆さんの皆さんへも必ずはいかないまでも伝わったのではないかと思っております。

最後になりましたが、本大会の開催に際しまして二様力添えをいただきました関係各位の皆様方に、深甚なる感謝の意を表しますとともに、YEGの皆様にもまた感謝をしてやまないものであります。

3、第3分科会（第1次産業・農業フェア）……101名
6、第4分科会（自然との触れ合いの決め）……98名
7、第5分科会（ヤエの青森メッセ）……126名
8、大懇親会（青森自然の開始式）……2200名
9、記念講演（青森自然文化会館）……300名
10、記念公演（青森自然文化会館）……2000名
11、1泊2日エクスカーション「五能文化ヒリマン青森ツアー」……126名
12、1泊2日エクスカーション「美しいヤロと西津軽紀行」……44名
13、日帰りエクスカーション「三内丸山遺跡と縄文文化」……106名
14、物産展（青森市文化会館）……2500名

YEG翔生塾

8月7日、東北地方は記録的な猛暑に見舞われた中、青森県をはじめ秋田・岩手・岩手県盛岡にいる全国各地の若きアントレプレナー40名が静岡県の西下会議室盛岡経営センター「カリアッダ」に集い、2泊3日の「翔生塾（第1回）」を開催しました。

「翔生塾」との名前の由来は、平成11年12月、日商の会議室で開かれた平成10年度予定委員会議の時からでした。我々の委員会の一つの役割は、商業連盟事業を定着させ、地域会員会メンバーとなり、研修委員会の活動の約10年度調査に活動する事となったのです。平成11年度研修委員会の研修会議より研修事業について、の提案や意見がありました。「えっ？そんなことまでやるの？」という声の中、皆様でした。10年先を考えてにヤングリーダー研修を行う、「翔生塾」の開催を決め、ヤングリーダー研修は8月、7月に先一回「翔生塾」は8月にという計画にしました。そして、人数からして、わずか2～3名が一つの研修を担当するという事でスタートを切りました。

「翔生塾」のメイン講師を先については、今我々に一番刺激的であり、また小企業大学校校長教授、元年次期（おおたいらよしろう）氏に決定し、2月までに事務局に依頼をされて先生の内諾を得ました。

また、講師先生方の講義内容については、それぞれにお任せする形を取り、その下

これからどうなる、女子高校生と社会こわのつくと

こうした、各講氏・懇親氏及び先輩氏の諸氏に講義の後で、質疑の小会議を設けて地元との交流に参加していただき、基本には講義の中では得る事の出来ない新しい発見や意見交換などを基盤していただいて、ただ一方的に聞くだけではない充実した研修会であったとのお褒くに値かがました。

また、講義先生方の講義内容については、それぞれにお任せする形を取り、その下

つにかくの内容でお願いしましたが大変熱心の濃い内容でありました。そしても大学先生には、約一日半の中講義を中小企業経営者の立場について、林物語に分かり易く講義をしていただきました。

任者として、講義後の懇談についていろいろ行き違いがあり懇親会を欠席にご迷惑をかけました。しかし、日本全国各地の青年経営者と合宿にしてお願いとせいか、先生がたには、皆さん受けていただきました。気になる参加者の声ですが、全体的に満足していただけたようです。講義の終わりに参加者に感想文をお願いしましたが、ほとんどの参加者から「翔生塾」に対する感謝の言葉を寄せていただきました。

最後に、参加いただいた会員、またご協力いただいたすべての皆さまに感謝の意をお申し上げます。

連携この1年。全国にリンクする特別委員会の活動報告！ YEG。

YEG連携大賞決定

今年下半期の連携大賞表彰

商青連は「YEG連携」を標榜し、各単会でYEGの活動を支援するべく事業活動がおこなわれてまいりましたが、99年度地域連携委員会では2年目・3年度の二カ年での連携事業を実施しているYEGに、10件近くもの候補実施されているYEGを広く募集し、連携のモデルとも言うべき事業を実施し成果を挙げておられる事例を全国に求め、より多くのYEG仲間に紹介し、さらに新しい連携事業の創出にもつなげたいという、一石二鳥連携大賞」として表彰することになりました。今回初めての試みではありますが、地域連携小委員会一同、誠心誠意の結果を二機会とします。

昨年12月、全国のYEGに対し「YEG地域連携大賞」の応募用紙を送付、募集しましたところ、早速の応募がございました。委員会一同感謝しております。平成11年1月の10の締切、委員会を招集して、40事業全てに目を通し検討しました結果、下記の事業を最優秀賞に決定いたしました。なお、2月12日の締切、審査委員のカリスマックでの審査を経て委員会会議に諮り慎重審議していただきまして決定しましたら事業です。

最優秀賞

ニッシンクレッシング
事業名称「ニッシンクレッシング」
事業単会名「伊勢崎YEG（群馬県）」
実施単会名「伊勢崎YEG（群馬県）」
未来YEG（山梨県）」
応募の理由：実際の事業に対する連携化までを実現しており、チームプレーシップに優れた、連携によるビジネスチャンス作りのモデル的取り組みと言える。安全な食品作りを通しての自然環境への配慮も評価である。

ファンタジー
事業名称「復活コジラのすべり台」
実施単会名「静岡西YEG（静岡県）」
応募の理由：子供にもなじみのある題材を捉えて、一般市民も含む幅広い世代を巻きこんだ規模の大きな事業に積極的に取り組んでいる。YEGらしい自主的な発想と行動力が評価である。

ふれあいコンサート
事業名称「北陸3YEGふれあい連携親善協議会への参画」
実施単会名「一関YEG（岩手県）・北上YEG（岩手県）・花巻YEG（岩手県）・水沢YEG（岩手県）・秋田YEG（秋田県）・秋田北YEG（秋田県）・大館YEG（秋田県）・能代YEG（秋田県）・青森YEG（青森県）・弘前YEG（青森県）・八戸YEG（青森県）・十和田YEG（青森県）・むつ下北YEG（青森県）・五所川原YEG（青森県）・黒石YEG（青森県）・弘前西YEG（青森県）・八戸東YEG（青森県）・青森東YEG（青森県）・秋田YEG（秋田県）・能代YEG（秋田県）・大館YEG（秋田県）・秋田北YEG（秋田県）・水沢YEG（岩手県）・北上YEG（岩手県）・一関YEG（岩手県）」
選考の理由：単会の枠を超えた連携事業であり、YEG単会による、地域活性化の広い意味での連携という点で高く評価できる。

ふれあいコンサート
事業名称「第17回チェンジアップ祭」
実施単会名「宇都宮YEG（栃木県）・小山YEG（栃木県）・栃木YEG（栃木県）・真岡YEG（栃木県）」
選考の理由：単会の枠を超えた連携事業であり、YEG単会による、地域活性化の広い意味での連携という点で高く評価できる。

優秀賞

ふれあいコンサート
事業名称「第17回チェンジアップ祭」
実施単会名「宇都宮YEG（栃木県）・小山YEG（栃木県）・栃木YEG（栃木県）・真岡YEG（栃木県）」
選考の理由：単会の枠を超えた連携事業であり、YEG単会による、地域活性化の広い意味での連携という点で高く評価できる。

以上5事業が平成10年度の受賞事業ではありますが、その他にも、町に根ざした事業、YEGらしい事業、同じ志を持ちともに学び合う事業になる等、どれもとても素晴らしい事業ばかりや、委員会一同、YEGの行動力と地域に根ざした活動に改めて敬意を表します。この表彰を通じて、新しい連携の輪が広がることを念じつつ…。

そして皆様のご協力とご理解に感謝しつつ、皆様で今後のご活躍を祈念しつつ、ありがとうございました。

YEG連携大賞の紹介（今後）

商青連の課題と展望

平成10年度　特別委員長　佐々木正光

早速ですが、10年度の1年間を振り返ってみて、強く感じたことのみを記すに留めたいと思います。

10年度の全国大会で事業の一部が導入された「YEG連携メニュー」はこれからの商青連活動の方向性を示す意味で重要な位置づけであり、各単会においても真に地域に根ざした連携事業の実施に向けて、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

また、「YEG連携大賞」は、これからの商青連の方向性を示す意味で重要な位置づけであり、各単会においても真に地域に根ざした連携事業の実施に向けて、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。

しかしながら、我が商青連は社会的意義によって今のように連携して活動する組織であり、ほとんどは単年度であって、その限りあって委員会も組織されていて、どこも有意義で素晴らしい委員会が開けたのではないかと思います。各単会の皆様、その他にお疲れさまでした。ありがとうございました。

ところで委員会の内容でございますが、商青連の特別委員会の設置を始めるに当たり、このようなPRをすれば良いかという事で本年度は半年ごとに委員会の活動内容をスローガンにした委員会の活動内容がわかるくらい周知し、これだけ実践されているかの確認を目的としての「YEG連携大賞」という賞を設け全国にYEG連携」を促進し、実施のために、各単会におかれましては、その方のご参加のもと、委員会一同、感謝に絶えません。本当にありがとうございます。この表彰を通じて、新しい連携の輪が広がることを念じつつ…。

そして皆様のご協力とご理解に感謝しつつ、皆様で今後のご活躍を祈念しつつ、ありがとうございました。

地域連携小委員会

地域

井手　親良

地域連携小委員会は、本年度特別委員会の地域連携委員会を引き、とおりまず北信越ブロック（石川・富山・福井）です。

平成10年度地域連携委員会の開催状況は、

①YEG単独連携の連携

②単会間ブロック内の連携

③単会間ブロック内のサクセスストーリー

の事例

東ブロックのとおりとなっております。

①の連携

というテーマで、年間活動をまとめました。

しかし、私どもの活動の中心は、

会議のテーマとする第15委員会にとても重要なものではないかと考えました。

で第2の方の方で、例えば、富山、石川、福井各県は北陸委員会の目的に合わせて、委員会の時に一緒に参加する形で委員会を開いたのですが、それだけではなくて、委員会のメンバーの地元での開催を計画していました。例えば、

●6月12日～13日　岐阜県各務原YEGの10周年記念大会に参加しこの委員会

●8月14日～15日　福井県小浜YEGでのバーベキュー大会

●11月2日～3日　二泊三日の委員会の実施

●11月23日～24日　富山県高岡YEGの10周年記念大会に参加しこの委員会

連携大賞授賞委員会の開催、役員の日程の調整委員会の開催、表彰式まで行いました。

表彰式は、地元からの出席者との懇親会もありました。

●1月23日～24日　静岡県静岡YEGの連携大賞授賞委員会の開催、役員の日程の調整委員会の開催、表彰式まで行いました。

表彰式は、地元からの出席者との懇親会もありました。

商業連携小委員会

商業

委員長　飛井　隆

小委員会名簿

新組織となり4月、委員の顔ぶれにおいて、前出のとおり、委員会の役割を決定し、委員会の活動を確認するとともに、知らない顔に多くの出席を得ることができました。

製造業 製造業連携 小委員会

森下 祐浩

平成10年度の4月よりスタートして、自分と全国より集まっていただいた10人のメンバーで製造業連携委員会として活動を始めるものは何かを考えました。その結果「連繋問題」をテーマにしようと決定しました。

平成11年2月の今迄の会員連絡会を委員会の環境問題の勉子を配布しようとするまじい願いでありましたが、なかなかメンバー会員が集まって協議することが出来ず国ついてしたところ音森の会田委員長にいろいろ相談をし東京での勉強会で設定しました。第1回目は、青森よりお越しいただき、自分と会田委員長より、「まずは青森の産業の概要をしては」との意見が提案されました。製造業連携委員会はその効果次の会議を設定して、下記に掲載のしんまた、東京で開催した委員会において、次の領域の調査を進める事で委員会の参考である旨伺うことから決定しました。

大変ありがとうございました。

1. 自己紹介
2. 平成9年度製造業連携小委員会アンケート調査が設立した経過報告
製造業連携委員会での位置づけ
3. 事務局の説明
4. 意見交換会
5. 次回予定

●平成10年5月22日
第2回 製造業連携小委員会アンケート調査

1. わが社で売りたい商品
2. わが社の求めるもの
3. 新しい売り方の研究
4. 売れる菓子・旨味ある30日分の商品・良質の商品
5. 製造・販売に関する技術情報・外注先関連情報の収集。
6. 製造業連携ホームページ立ち上げることができる。商業連ホームページとも関連情報の収集。
7. 新製品・菓子・イノベーション新商品の発表。

●7月24日
第3回 菓子製造連携小委員会 参加14社

場所 千葉市 オリンピック会館貸会議室
1. 大田氏より設立目的紹介
2. 自己紹介及び名刺交換
3. 製造調査担当本社役割
4. 小委員会の目的及び役割
5. 工場・店舗見学
6. 商品社長より会社概要・PRの説明
7. レストランオリンピックにて懇談会

●8月22日・23日
第4回 菓子製造連携小委員会 参加9社

場所 富山県新湊市
1. 小委員長（株）米田工場見学・意見交換
2. 自己紹介及び名刺交換
3. 新湊調査担当本社役割
4. 小委員会の目的及び役割
5. 工場・店舗見学
6. 商品社長より会社概要・PRの説明
7. レストランオリンピックにて懇談会

●11月5日・6日
全国大会青森大会

青森メンバー参加
A. ビジネス交流プラザ
B. 見学
（株）ダンボー　千葉県ロイヤル
スイートポテトその他
ケーイー食品　千葉県ロイヤル　製菓材料
（株）横田製菓工業　富山県ロイヤル　洋菓子
（株）文田　富山　ロイヤル　かき餅類
（株）ハマダ　茨城県納豆　菓子セット3種
（株）ハマダ　茨城県納豆　菓子セット3種
神奈川　一澤帆布製作所　高級鞄類4種

（株）米田　富山県新湊市　しろとびかき餅
空上1475の円
空上合計61650円×20％＝12330
青森ロイヤルへ送料いくらかかりました。

C. 懇親会
1. 青森県の産物の紹介（青森ロイヤル）
2. 懇親会
3. 次回　寿司屋　お好焼でした
4. 青森県観光・名所旧跡の案内
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
5. 懇親　寿司屋

建設・不動産 建設・不動産 小委員会

森 一弘

私は、本年度の活動の方向性として三項目を打ち出しました。

（1）単年度の活動により、一定の成果を出す
（2）YEG委員会にアピールの出来る事業及びYEG委員会事業の建設要望及び不動産斡旋に役に立て、又情報のある活動
（3）単会・会員企業に見える活動

この三項目をかかげ、方針に向かって建設・不動産業の現状のヒアリング調査活動その結果、大手が公共事業の低下度が高く各地区にも動いて厳しい経営環境にあることが判明し、建設業者を官庁にヒアリングを実施し、現状の把握に努めました。

また、建設業者の地方への配慮をお願いする意見書の作成と、建設大臣への陳情書提出を実施することにしました。

残すはYEG懇親旅行となりましたが、会員企業間は、建設業者だけの問題でなく地方の活性をかけた重大な課題であるし、地方のまちづくり日本の二十年後、三十年後の未来にかかわる問題と考える次第です。

数々の無いまいをご理解いただければ幸いに思います。

サービス サービス連携 小委員会

冨沢 裕史

初めて商業連に出向させていただき、戸惑いと緊張の一年でした。

当初の依頼を受けたとき商業連、九州プロックの位置付けや役割、期待委員会とは何かすればいいのか全く解りませんでした。その不安のまま平成10年度が始まり第1回委員会、第2回委員会、第3回委員会と回を重ねていくうちに、すばらしい人達との出会いと人の心の温かさを教えていただきました。

地元の活性委員会の役割をとおがられ自治体の議会のメンバー、九州プロックの委員長を仰せつかったことを光栄に思うと共に、地元事業のメンバー、九州商連の皆様をはじめ多くの関係者の皆様の人に心よりお礼申し上げます。

情報 情報連携 小委員会

篠田 好充

会員名簿のデジタル化（CD－ROM）の要望に関する在の経済情勢にも多様なるべく情報の伝達を図りて情報委員会活動をして参りました。情報関係の業種ではありませんが、情報はすべての業種に関係するものだと思い込み委員会活動を進めてきました。

予算の関係でCD－ROM作成はできませんでしたが、本年度CD－ROMを作った関連プロック・近畿プロックのCDを、青森全国大会でミニメッセにて紹介することができ、来年度へ向けての有益になったと思います。

また、静岡委員会ホームページをとり上げることができ、商業連ホームページとも関連情報の収集。

●平成10年5月22日
第2回 菓子製造連携小委員会アンケート調査

1. わが社で売りたい商品
2. わが社の求めるもの
3. 新しい売り方の研究
4. 売れる菓子・旨味ある30日分の商品・良質の商品
5. 製造・販売に関する技術情報・外注先関連情報の収集。
6. 製造業連携ホームページ立ち上げることができる。商業連ホームページとも関連情報の収集。
7. 新製品・菓子・イノベーション新商品の発表。

菓子製造 菓子製造連携 小委員会

米田 隆彦

平成10年度第1回委員会報告
●第1回　平成10年2月20日
場所　富山会議所ふれあいホール
参加14名
平成9年度菓子部会・10年度菓子製造連携小委員会合同会議　議題

1. 自己紹介
2. 平成9年度製造連小委員会から菓子部会が設立した経過報告
製造業委員会での位置づけ
3. 事務局の説明
4. 意見交換会
5. 次回予定

●5月27日（水）
特別委員会・菓子製造連携小委員会
場所　有楽町ビル講習（地下2階）
1. 講師紹介　セミナーについて
2. ベンチャービジネスに学ぶ
3. ニューヒットの研究
4. ベンチャービジネスに触れる
5. 懇親会

●7月1日・2日
特別委員会
場所　富山市　オヤル富山
菓子製造連携小委員会　参加14社
特別委員会　懇親会　高木会（ビル内）

●7月24日
第3回　菓子製造連携小委員会　参加14社

場所　千葉市　オリンピック会館貸会議室
1. 大田氏より設立目的紹介
2. 自己紹介及び名刺交換
3. 製造調査担当本社役割
4. 小委員会の目的及び役割
5. 工場・店舗見学
6. 商品社長より会社概要・PRの説明
7. レストランオリンピックにて懇談会

●8月22日・23日
第4回　菓子製造連携小委員会　参加9社

場所　富山県新湊市
1. 小委員長（株）米田工場見学・意見交換
2. 自己紹介及び名刺交換
3. 新湊調査担当本社役割
4. 小委員会の目的及び役割
5. 工場・店舗見学
6. 商品社長より会社概要・PRの説明
7. 懇親会　寿司屋　お好焼でした

●11月5日・6日
全国大会青森大会

A. ビジネス交流プラザ
B. 見学
（株）ダンボー　千葉県ロイヤル
スイートポテトその他
ケーイー食品　千葉県ロイヤル　製菓材料
（株）横田製菓工業　富山県ロイヤル　洋菓子
（株）文田　富山　ロイヤル　かき餅類
（株）ハマダ　茨城県納豆　菓子セット3種
（株）ハマダ　茨城県納豆　菓子セット3種
神奈川　一澤帆布製作所　高級鞄類4種

（株）米田　富山県新湊市　しろとびかき餅
空上1475の円
空上合計61650円×20％＝12330
青森ロイヤルへ送料いくらかかりました。

C. 懇親会
1. 青森県の産物の紹介（青森ロイヤル）
2. 懇親会
3. 次回　寿司屋　お好焼でした
4. 青森県観光・名所旧跡の案内
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
（石塚証明・国指定重要文化財　三内遺跡）
5. 懇親　寿司屋

小委員会名簿

一年を振り返って

吉本　博次

■副会長

■副会長

■副会長

■副会長

■専務理事

■監事

■監事

『アジア商工会議所連合会（CACCI）に参加』

「アジア商工会議所連合会（CACCI）に参加」

若手官僚との懇談会

通産省メンバーとYEGとのくにづくり交流会

第16回商工会議所青年部全国会長研修会
「今・つながる今治会議」

会長研修会　花巻へ！

全国大会　新潟へ！

万感の思いをこめて、いま純白の里から

第19回全国大会新潟大会　実行委員長　伊田　宏

私たち新潟県商工会議所青年部連合会は、「万感の思いをこめて、いま純白の里から」を基本理念キャッチフレーズに掲げ、平成11年11月、全国大会・新潟大会を開催します。[illegible]

今大会は、大都市青年部中心の全国大会ではなく、小都市青年部が連携し合って開催する大会です。これまで諸先輩が[illegible]

新潟は、海の幸、山の幸に恵まれ、また四季折々の表情を見せてくれます。その風土が育んだ歴史・文化、[illegible]

平成11年度事業計画

委員会名	検討事項
総務委員会	①会員総会、役員会の開催 ②会則、規約等の検討 ③会員拡大 ④青年部のあり方についての検討 ⑤その他（他の委員会に属さない事項の検討）
企画委員会	①第19回全国大会（新潟）への指導、助言 ②第17回全国会長研修会（花巻）への企画、運営、助言 ③全国大会、全国会長研修会主管候補地の選考および検討 ④青年部のあり方についての検討
研修委員会	①YEGヤングリーダー研修の企画、開催 ②[illegible]の企画、開催 ③青年部のあり方についての検討
広報委員会	①機関紙「[illegible]」（第27、28号）の発行 ②「広報」「会議所ニュース」への青年部活動の掲載 ③ホームページの制作運営 ④青年部プロモーションビデオの制作 ⑤青年部のあり方についての検討
アントレプレナーズ委員会	①YEG連携事業の推進 ②情報の共有化とネットワークづくりによる各青年部活動の支援 ③委員会によるビジネスチャンスの調査、研究、実践 ④「ビジネス交流」の場作りの企画、実施 ⑤青年部のあり方についての検討
ブロック代表者会議	①ブロック大会開催 ②「ブロック別会員名簿」の作成 ③各青年部、都道府県連合会、ブロック活動支援 ④県別、ブロック別研修会議の開催支援 ⑤未加入青年部の加入促進 ⑥青年部の設置促進 ⑦ブロック内へ商工会議所の情報提供 ⑧青年部のあり方についての検討

広報コンクール

今回行われた広報コンクール表彰

広報コンクール　入賞作品決定、表彰

昨年全国のYEGを対象に実施した広報コンクールの入賞作品が決定し、2月の全国会長研修会で表彰されました。

入賞作品は次の通りです。

会報誌（紙）の部

●マンスリー賞
諫早商工会議所青年部
「月刊きばらんか」

●インパクト賞
福井商工会議所青年部「[illegible]」

●ユニーク賞
八尾商工会議所青年部
「[illegible]」

●ビジネス賞
松阪商工会議所青年部
「G-IVER」

●ビジュアル賞
京都商工会議所青年部「よいど」

●ハートフル賞
長崎商工会議所
「青年部だより」

●コンテンツ賞
高岡商工会議所青年部
「ACTIVE98」

ホームページの部

●デザイン賞
津商工会議所青年部
[illegible]

●コンテンツ賞
酒田商工会議所青年部
[illegible]

●ベストモール賞
[illegible]商工会議所青年部
[illegible]

会報誌（紙）の部には[illegible]作品、ホームページの部には[illegible]作品の応募があり、いずれも力作ぞろいでした。

どの作品も青年部ならではの工夫がなされ、その青年部らしさがよく出ており、甲乙つけ難い、審査が大変難航しました。[illegible]

広報コンクール入賞作品の展示（今治）

翔生塾（inアメリカ）参加者募集！

ご好評の翔生塾は、[illegible]

[illegible]

早速ではありますが、申し込みの受付をここにお願いいたします。

詳細には、スケジュール調整をしていただき、一人でも多くのYEGメンバーの参加を得て、真に役立つ「翔生塾・inアメリカ」としたいと、委員会メンバー一丸となって企画していますので、楽しみにしていてください。

期日　平成11年6月9日（水）～6月14日（月）4泊6日
訪問先　シリコンバレー、サンフランシスコ、ラスベガス
募集人員　50名
参加費　229,000円
（空港使用料等諸経費含む）

各青年部へ申込書を送付します。奮ってご参加ください。

〈本件連絡先〉
全国商工会議所青年部連合会事務局（日本商工会議所中小企業振興部内）
担当／宮崎・平田・小林
TEL／03-[illegible]
FAX／03-[illegible]